



被子植物 双子葉類

ヒルガオ科

被子植物 単子葉類

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

サツマイモ



サツマイモは、野菜として土の中にできたいも部分が食用とされています。サツマイモのいもは、(1)です。

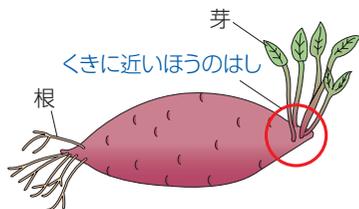


サツマイモはふつう種子ではなく(2)からさいばいされます。春に(3)から育ったなえを植えつくと、(4)ごろに収かくされます。

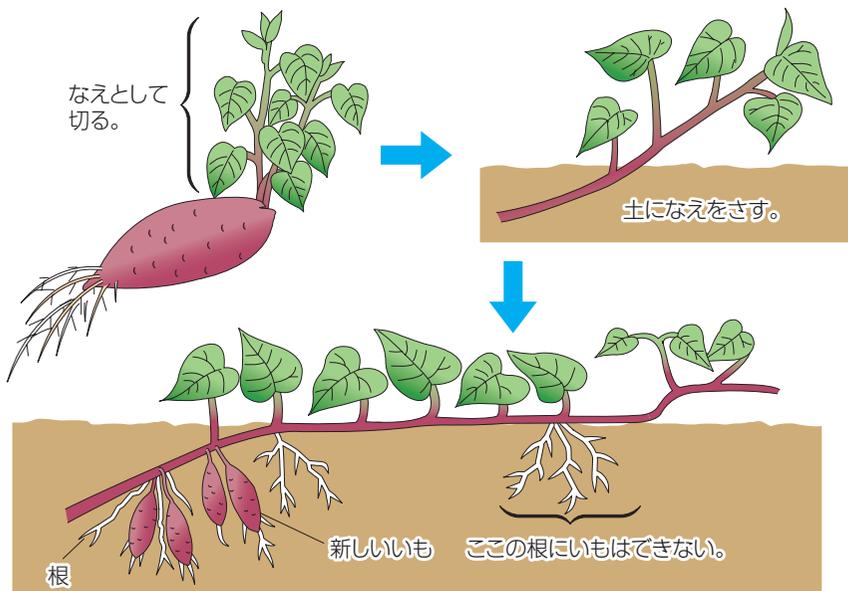
成長のようす



サツマイモの種いもを温度の(5)場所にお置いておくと、くきに近いほうのはしから(6)が出て、反対のはしから(7)が出ます。



芽が育ってきたら、なえとして切り取って土に植えると葉がしげり、地面をはうようにつるがのびます。

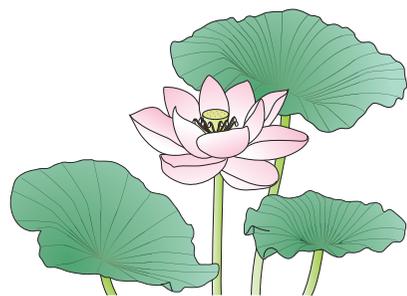


ジャガイモのいもはくきて、サツマイモのいもは根じゃぞ。ジャガイモは芽の根元から根が出るが、サツマイモではちがうんじゃ。人試でもよく問われるから、逆に覚えてしまわないようにするのじゃ！

ハス



ハスは、池やぬまなどに生えている植物です。くきは水の下の中に広がっており、そこから葉を水面の上ののびします。水面にういている葉もあります。(8)になると、水面の近くで白色やピンク色の花をさかせます。



ふつう植物の葉の両面には(9)がありますが、ハスは葉の裏側には気孔がありません。気孔は葉の(10)にあります。

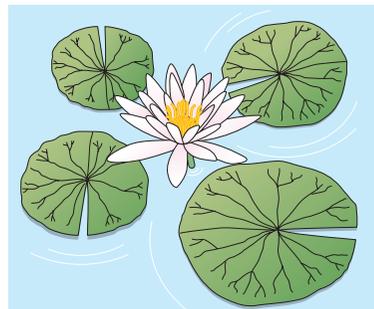


ハスの、土の中にある(11)は、種類によっては野菜として食用とされています(レンコンともよばれます)。

スイレン



スイレンは、池やぬまなどに生えている植物です。くきは水の下の中に広がっており、そこから葉がのびて水面にういています。赤色や黄色、白色、ピンク色の花をさかせます。



スイレンの葉の裏側は、水面に接しており、気孔がありません。気孔は葉の(12)にあります。

+プラスワン

ハスとスイレンは見た目がよく似ていますが、ハスの葉の表面は水をはじくがスイレンははじかない、などのちがいがあります。

被子植物 双子葉類

その他草本

被子植物 単子葉類

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

ハウセンカ

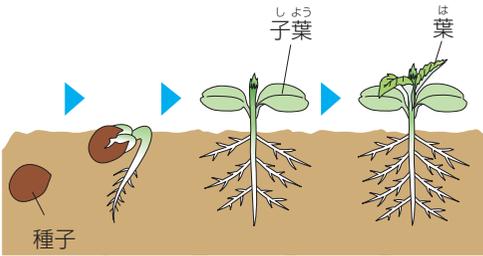


ハウセンカは、学校や家庭でよく育てられており、(13)になると赤色や白色、ピンク色、むらさき色などの花をさかせているのを見かけます。

成長のようす

ハウセンカは(14)です。(15)にまいた種子が発芽すると、(16)にかけて大きく成長し、花をつぎつぎにさかせます。実は熟すと(17)、中の種子が(18)ます。冬にはかれます。

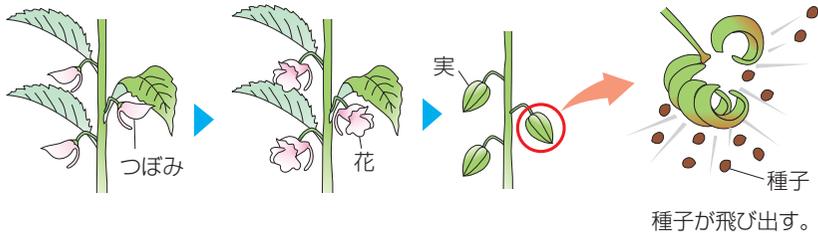
春



夏



花の部分の拡大



秋 実がはじける。

+プラスワン

ハウセンカやカタバミは、種子を遠くに運ぶために、実が熟すととはじけて中から種子が飛び出すしくみになっています。

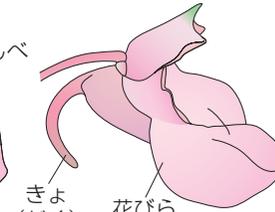
花のつくり

ハウセンカの花は、花びらが1枚1枚分かれる(19)です。

正面から見た図



横から見た図



※めしべはおしべにかくれている。

+プラスワン

ハウセンカの花粉は、花粉管をのばす速度が速いため、花粉管の観察によく使われます。



+プラスワン

ハウセンカの花のがくからのびているとき(きよ)の中にはみつせんがあり、みつがたまっています。

受粉の仕方

ハウセンカの花は、昆虫に花粉を運んでもらう(20)です。昆虫を引き寄せるために、(21)を出します。

(注意) 本ドリルでは入試問題を掲載していません。